

[プレスリリース]

2022/3/31

イケムラレイコ個展「限りなく透明な」

2022年4月14日(木) – 5月28日(土)



イケムラレイコ, *Trees out of Head*, 2021, cast glass, 27x32x20cm

限りなく透明な

最も暗いところから見るヒカリ

最も暗いところに現れる光

限りなく暗いところにヒカリ

イケムラレイコ

展覧会について

三年前に開催された国立新美術館での大規模個展の厚みのある作品群と見事な構想力による洗練された展示によって、いまだ人々の脳裏に鮮烈な記憶をとどめているイケムラレイコの、シュウゴアーツでは五年ぶりの個展です。四月から始まる今回の展覧会では 6 点のペインティングに加え、以前よりアトリエに設置していた窯を使って制作に取り組んでいるガラス彫刻 6 点が披露されます。

ガラス彫刻作品について

イケムラレイコの芸術家としての人生は、常に新しい素材、手法との出会いであり、ときに格闘であり、ついには自家薬籠中のものにするまでに行き着く嘗みの連続でした。例えばイケムラがセラミックを手がけた 1990 年代初頭は、現代美術の世界でまだセラミックが彫刻の素材として積極的に認められていない時期でした。その後イケムラはブロンズを手掛け、ついに 4m をゆうに超えるモニュメンタルな作品を実現するまでに至りました。そのイケムラが近年縁あってモザイク、そしてステンドグラスにも取り組み、今やガラス彫刻に精力的に取り組んでいます。

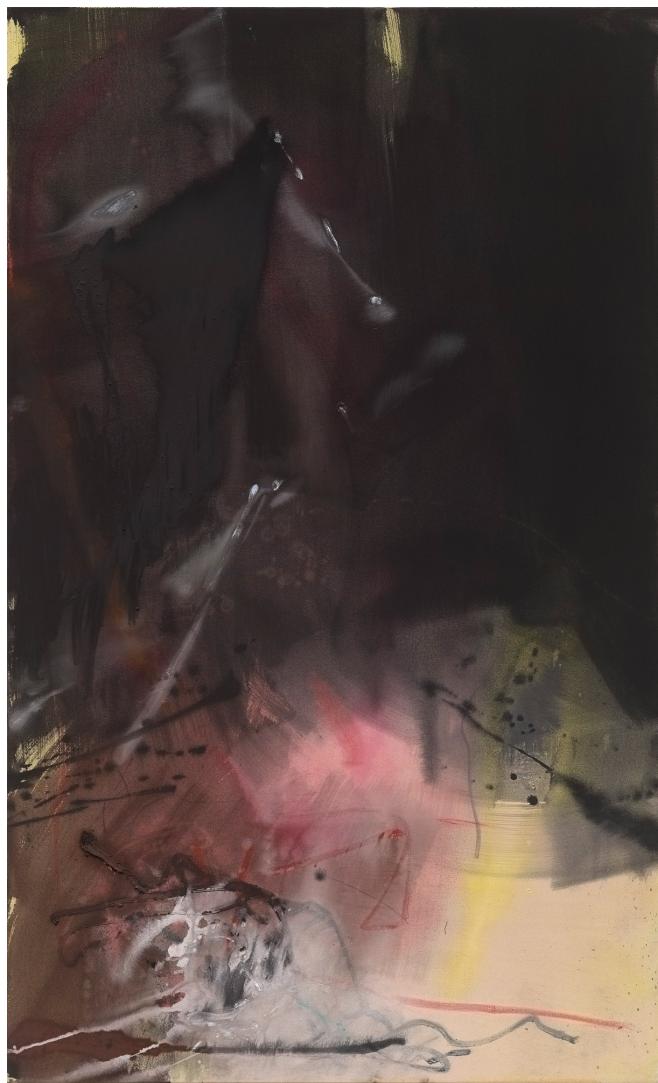
もともとセラミックの制作において本体に塗る釉薬はガラス質の溶液であり、ガラスが高熱によって変容し、光を内包する透明感を伴って形になることに親しみ、魅了されていました。現在アトリエで制作工程に時間をかけながらガラス作品の誕生を自ら手がけることの喜びは格別と本人は語ります。「形が色を呼び、色に陰影を与え、形と色の透明感が一体化する」ことを目指して制作された完成度の高いガラス彫刻群です。



イケムラレイコ, *Cat*, 2020, cast glass, 20x26x14cm

絵画作品について

ガラス彫刻が自ら光を内包しているとすれば、新たな展開を遂げている一連のペインティングは「暗闇の中に見出された光」を画面にとどめることが志向されています。「何かを表現するというようなレベルから、最も透明なる自己=宇宙へと時空を超えて到達したい」というイケムラの思いが作品に強く投影されています。具象/抽象の二元論を超えて、絵画を通した形而上の瞑想、あるいは理念・精神に関わるイケムラの想念、がそこにとどめられていると言えるでしょう。



イケムラレイコ, *Blackscape*, 2022, tempera and oil on nettle, 180x110cm

詩作品について

また、イケムラが二十年以上にわたり扱っているもうひとつの「素材」として、より形而上的な素材ともいすべき「言葉」があります。10年以上前からイケムラはしばしば展覧会において、自ら紡ぎ出した言葉を詩という形式から一步離れたところで、展示を成立させる大事な要素として扱ってきました。当初よりイケムラの詩的才能に注目していた詩人・田野倉康一さんの推薦によって、昨年6月まで一年余にわたり「現代詩手帖」誌に断続的に発

表された一連の詩は、イケムラの言葉による芸術的成果として特筆すべきものです。

ガラスが窯の中での熱による珪素の変容・結晶化であるとすると、イケムラ自身にとって詩は20歳のときに日本を飛び出して以来、今までその人生を自ら切り開いてきたヨーロッパという地で、本人の中に長年にわたって沈殿し晶出されたもうひとつの芸術的奇跡の現われ、と言えます。

おわりに

さまざまな素材・手法を手掛けながらもイケムラが追い求めてきたのは、いつの時代にあっても輝くことをやめない「ヒカリでありイノチ」でした。このますます困難な今日においても、「個や国を超えて宇宙的な視座から」ものごとを捉えつつ形にしよう、というたゆまぬ芸術的営みを続けているイケムラレイコの最新の成果をご覧頂ければ幸いです。

シュウゴアーツ 2022年3月

アーティストについて

イケムラレイコは三重県津市生まれ。1970年代にスペインに渡る。スイスを経て、現在はベルリンおよびケルンを拠点に活動。大阪外国語大学とセビリア芸術大学で学ぶ。動物、人間、地平線をモチーフに、絵画、ドローイング、写真、彫刻など様々なメディアを用いて世界の成り立ちを探求している。主な個展：「Toward New Seas イケムラレイコ 新しい海へ」バーゼル美術館（スイス、2019）、「土と星 Our Planet」国立新美術館（東京、2019）、「あの世のはてに」シュウゴアーツ（東京、2017）、「Poetics of Form」Nevada Museum of Art（アメリカ、2016）、「All About Girls and Tigers」ケルン市立東洋美術館（ドイツ、2015）、「PIOON」ヴァンジ彫刻庭園美術館（静岡、2014）、「i-migration」カールスルーエ州立美術館（ドイツ、2013）、「うつりゆくもの」東京国立近代美術館 / 三重県立美術館（2011）など。



イケムラレイコ インタビュー動画（2017年6月）

<https://shugoarts.com/news/2907/>



テキスト

<https://onl.bz/VCVhFYX>

展覧会概要

イケムラレイコ「限りなく透明な」

会期：2022年4月14日(木) – 5月28日(土)

会場：シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木6丁目5番24号 complex665 2F

開廊時間：火～土曜 正午 – 午後6時（日月祝休廊。4月29日および5月1日～5日も休廊となります）

*オープニングレセプションは開催いたしません。新型コロナウィルス対策のため開廊時間を短縮しております。

◆シュウゴアーツ アーティスト情報はこちらをご覧ください：<http://shugoarts.com/topics/>

ShugoArts シュウゴアーツ 106-0032 東京都港区六本木6丁目5番24号 complex665 2F / 03-6447-2234

展覧会企画担当：石井 minako@shugoarts.com

プレスに関するお問い合わせ：石井・山田 gallery@shugoarts.com